

平成29年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年9月7日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田中 豊
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 芝田 新一郎（TEL）03-6823-5926
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年10月期第3四半期の業績（平成28年11月1日～平成29年7月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第3四半期	1,322	0.6	57	22.8	57	63.9	38	51.3
28年10月期第3四半期	1,314	3.0	46	△18.1	35	△38.7	25	△26.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年10月期第3四半期	34.43		32.90					
28年10月期第3四半期	23.66		22.75					

（注） 1. 当社株式は、平成27年12月18日に名古屋証券取引所セントレックス市場に上場しております。平成28年10月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の計算においては、新規上場日から平成28年10月期第3四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第3四半期	722		413			57.2
28年10月期	703		374			53.2

（参考）自己資本 29年10月期第3四半期 413百万円 28年10月期 374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年10月期	—	0.00	—	—	—
29年10月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年10月期の業績予想（平成28年11月1日～平成29年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,779	3.7	57	2.0	54	5.2	36	△5.6	32.12

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年10月期3Q	1,121,200株	28年10月期	1,120,400株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

29年10月期3Q	65株	28年10月期	—株
-----------	-----	---------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年10月期3Q	1,120,649株	28年10月期3Q	1,077,445株
-----------	------------	-----------	------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和策により、緩やかな回復基調が続きました。しかし、北朝鮮をめぐる軍事的緊張の高まりや、米国経済の動向と国際市場に及ぼす影響、また新興国・資源国経済の動向等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、平成29年5月から平成29年7月までの、らん鉢取扱金額は1,106百万円（前年同期比1.3%増）、数量では333千鉢（前年同期比6.2%増）と、いずれも前年同期比微増という傾向で推移しております。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、主力の法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客への深耕営業により、売上は堅調に推移いたしました。また、減少傾向にあった婚礼生花受注数は、ブライダルの組数が回復しつつあることから、6月・7月は前年同期比で回復傾向でした。ナーセリー支援事業は、引き続き自社製品としての活用割合を継続して増加させました。一方、フューネラル事業は、葬儀業界の全体的な環境として、年々葬儀件数が増加するものと推計されている一方、葬祭規模の縮小傾向が強まっていることにより、葬儀単価が減少傾向にあることから、葬儀花の1件あたりの注文量も減少傾向が続いております。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,322,379千円（前年同期比0.6%増）、営業利益57,353千円（前年同期比22.8%増）、経常利益57,595千円（前年同期比63.9%増）、四半期純利益38,589千円（前年同期比51.3%増）となりました。

なお、当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

(フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、贈答用の胡蝶蘭をグループ企業へ販売するという異業種参入支援業務において、既存の取引先からのご紹介等による新規顧客開拓の強化と、引き続き既存取引先各社へのオリジナルフラワーギフトカタログ作製の提案に注力いたしました。

社会全体では宅配業者各社の料金改定や上限サイズの見直し、時間指定等の範囲が難しくなる中、当社の強みの一つでもある自社配送対応の需要が高まっております。お客様の利便性向上と迅速な対応、配送エリアの拡大等を図ることにより、更なるサービスの拡充に取り組んでおります。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は926,190千円（前年同期比7.9%増）となりました。

(ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、引き続き国内提携農園3社の胡蝶蘭生産指導に注力いたしました。この継続的な取り組みにより、高品質製品の生産割合が向上し、各生産工程の作業効率も上がってきたことから、自社製品としての活用割合が順調に増加しており、結果として市場への出荷量は減少いたしました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は289,791千円（前年同期比14.5%減）となりました。

(フューネラル事業)

フューネラル事業につきましては、引き続き既存取引先等からの紹介による新規顧客開拓の営業強化に注力いたしました。

葬儀業界全体として、高齢化社会とともに少子化も進んでいることも影響し、葬祭規模の縮小、家族葬の増加等、現代の価値観の多様化やニーズ合わせた小規模な葬儀形態に変化する傾向が強まっております。このような環境を背景に、葬儀用生花の市場相場は減少傾向にあり、当社においても葬儀用切花の平均数量及び平均単価は減少傾向が続いております。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は106,397千円（前年同期比9.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期累計期間における流動資産合計は660,912千円となり、前事業年度末に比べ17,333千円増加しました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が14,215千円減少したものの、現金及び預金が33,278千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期累計期間における固定資産合計は61,235千円となり、前事業年度末に比べ1,520千円増加しました。この主な要因は、その他に含まれております敷金及び保証金が3,121千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期累計期間における流動負債合計は212,141千円となり、前事業年度末に比べ8,645千円減少しました。この主な要因は、未払法人税等が9,092千円増加した一方で、買掛金が12,825千円、1年内返済予定の長期借入金が7,033千円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期累計期間における固定負債合計は96,583千円となり、前事業年度末に比べ11,435千円減少しました。この主な要因は、長期借入金が11,598千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期累計期間における純資産合計は413,423千円となり、前事業年度末に比べ38,934千円増加しました。この主な要因は、四半期純利益38,589千円の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成28年12月8日に公表いたしました平成29年10月期通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成29年9月7日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年10月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	350,234	383,512
受取手形及び売掛金	189,408	175,193
商品及び製品	17,973	17,071
仕掛品	70,190	68,037
原材料及び貯蔵品	195	381
その他	18,221	19,096
貸倒引当金	△2,644	△2,381
流動資産合計	643,579	660,912
固定資産		
有形固定資産	9,723	8,181
無形固定資産	3,031	2,455
投資その他の資産		
その他	54,774	58,670
貸倒引当金	△7,814	△8,071
投資その他の資産合計	46,960	50,599
固定資産合計	59,715	61,235
資産合計	703,294	722,148
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,833	49,008
1年内返済予定の長期借入金	94,317	87,284
未払法人税等	7,905	16,997
賞与引当金	11,586	7,043
その他	45,144	51,807
流動負債合計	220,787	212,141
固定負債		
長期借入金	107,932	96,334
その他	86	249
固定負債合計	108,018	96,583
負債合計	328,805	308,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	139,140	139,199
資本剰余金	89,253	89,312
利益剰余金	145,489	184,078
自己株式	—	△67
株主資本合計	373,883	412,523
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	606	900
評価・換算差額等合計	606	900
純資産合計	374,489	413,423
負債純資産合計	703,294	722,148

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)
売上高	1,314,666	1,322,379
売上原価	809,278	767,871
売上総利益	505,387	554,507
販売費及び一般管理費	458,687	497,153
営業利益	46,700	57,353
営業外収益		
受取利息	129	91
受取配当金	51	90
保険解約返戻金	1,349	—
受取助成金	—	600
その他	640	411
営業外収益合計	2,171	1,193
営業外費用		
支払利息	1,088	951
株式公開費用	11,771	—
その他	871	—
営業外費用合計	13,731	951
経常利益	35,140	57,595
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	2,352
特別利益合計	—	2,352
税引前四半期純利益	35,140	59,947
法人税、住民税及び事業税	10,509	19,930
法人税等調整額	△870	1,427
法人税等合計	9,639	21,358
四半期純利益	25,500	38,589

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)

当社は、平成27年12月18日付で名古屋証券取引所セントレックス市場へ上場し、平成27年12月17日を払込期日として、一般募集（ブックビルディングにより募集）による新株式200,000株の発行を行いました。また、平成28年1月22日を払込期日として、エイチ・エス証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式30,000株の発行を行いました。

その結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ44,436千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が139,111千円、資本準備金が44,436千円となっております。

当第3四半期累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年7月31日)

該当事項はありません。